

# 東京都の採択受け資源循環システムズらと実証開始

## 産廃の循環プロセス網羅するプラットフォーム構築

### プラスチック資源の適正循環を目指して 資源循環デジタルプラットフォーム実証事業(旭化成の取り組み)

資源循環社会実現に向けたBlue Plastics(ブルー・プラスチック)プラットフォームを展開する旭化成は、資源循環システム(小嶋Com)ユニテックス(ユニテックス)共同で、東京都の年度事業「資源循環3R」の採択を受け、資源循環デジタルプラットフォーム実証事業に着手する。同実証は、旭化成のBlue Plasticsプラットフォームを進めるデジタルプラットフォーム「再生材利用促進システム」と、資源循環システム(小嶋Com)が進める製品の排出から再生材を管理する廃棄物資源化システム「IEP」のデータ連携による、産業資源の製造・排出・回収・再生といった循環のプロセスを網羅する、資源循環社の実現貢献のデジタルプラットフォームを構築することを目指す。

プラットフォーム・実装を促す再生材利用促進システム「IEP」は、製品の排出からデータ連携による回収・再生までの静脈側をデータ連携することから、許可情報管理、で、より高度な資源循環「契約管理」「マテリアル管理」の共通プラットフォームとしてIEPと連携を進めていく。旭化成は、小嶋Comのノウハウを基に、旭化成先端情報技術部署「IEP」構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。旭化成先端情報技術部署「IEP」構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。

旭化成が2019年に立ち上げた、産業廃棄物等における再生材利用促進を推進するBlue Plasticsプラットフォームである。動脈側(再生)の開発を進める再生材利用促進システムは、プラットフォームにおける再生材利用促進システム。プラットフォームの構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。



動脈静脈システムのデータ連携による資源循環デジタルプラットフォームの構築

旭化成が2019年に立ち上げた、産業廃棄物等における再生材利用促進を推進するBlue Plasticsプラットフォームである。動脈側(再生)の開発を進める再生材利用促進システムは、プラットフォームにおける再生材利用促進システム。プラットフォームの構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。旭化成先端情報技術部署「IEP」構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。

プラットフォーム・実装を促す再生材利用促進システム「IEP」は、製品の排出からデータ連携による回収・再生までの静脈側をデータ連携することから、許可情報管理、で、より高度な資源循環「契約管理」「マテリアル管理」の共通プラットフォームとしてIEPと連携を進めていく。旭化成は、小嶋Comのノウハウを基に、旭化成先端情報技術部署「IEP」構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。

人間連携の構に向けた課題抽出、開発要件の精査、データモデルの構築、事業地を進行。リサイクルセンターは、さまざまな事業がかわり各社再生材利用・再資源化の推進に当たり、必要となるデータ項目や定義を整理し、互いに共有できるようにしたい。関係各社のリソースやシステム連携の妨げない。スキーム確立のための課題、抽出や解決策の検討を促す。また、実際にプラットフォームの構築を進める。関係各社との連携を促す。また、実際にプラットフォームの構築を進める。関係各社との連携を促す。

今後4社は、Blue PlasticsとIEP両システムの開発を推進する。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。旭化成は、小嶋Comのノウハウを基に、旭化成先端情報技術部署「IEP」構築を進めていく。また、共同検証を行う。新たな開発中のシステム「資源循環プロジェクト」の共同検証を行う。